



福祉クラブ生協機関紙

ウェルビー 8

2024/No.389 AUGUST



福祉クラブ生活協同組合 〒223-0057 横浜市港北区新羽町 868 TEL045(547)1400 発行責任者 有賀恵子 <https://www.fukushi-club.net/>

福祉クラブ生活協同組合 第35回通常総代会



6月3日、男女共同参画センター横浜フォーラムにて、総代150人中、実出席100人、書面議決33人で開催し、1年間の活動方針を審議・決定しました。役員改選にて、27名(非常勤理事22、常勤理事5)の新体制でスタートとなりました。



挨拶をする
新理事長の有賀恵子さん



2023年度主な活動報告

- ①共同購入利用組合員拡大を目的とした新しい拡大活動として、生産者と一緒に消費材の優位性を伝える「みんなのフェスタ」を開催しました。また、コミュニティワークを拡げる活動として、各地で「社会講座」の開催を通して、メンバー拡大につなげました。
- ②コロナが5類となったのを受け、4年ぶりに「ふくしまつり」をリアル開催できました。クリスマス・正月用品試食会も各地で開催され、共同購入利用者拡大につなげました。
- ③在宅介護ニーズに対応する「定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業」を2023年10月開設し、利用登録2名からスタートしました。また、「みのり藤沢」の入居者募集を引き続き取り組みました。
- ④福祉事業、施設事業において運動と事業の持続のために、利用料金の一部改定や委託方法の変更を行いました。
- ⑤市民参加によるたすけあい活動を拡げ、地域の個人や団体とつながることを目的として、法人団体契約や子ども食堂、みらい子ども・子育てサポート基金募集や活用を推進しました。(高橋)

役員改選

第35回新たに選任された役員(理事・監事)の任期は2026年第37回総代会の終了までとなります。



2024年度方針

- 2024年は創立35周年を迎えます。社会の課題、2040年問題を見据えて取り組むべき中期計画(第7次5ヵ年計画)の最終年度の活動がスタートします。
- ①「福祉クラブ生協で地域の生活をもっと豊かに」過去3年間の組合員減少を重く受け止め、福祉クラブの運動と事業への共感を拡げることで、地域活動を活性化し、組合員拡大を推進します。
 - ②共同購入運動の持続を図るため、次世代につなぐ活動とともに全ての世代に福祉クラブの共同購入を伝える活動を推し進めます。
 - ③W.Coの運動と事業の継続性を図るため、福祉関係の専門職の雇用やW.Coとの協業について検討します。「定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業」は、利用登録目標の達成をめざします。現在の登録者は入居施設の利用者ですが、今年度は近隣地域への利用者拡大について検討し、取り組みを拡げます。
 - ④市民参加によるたすけあい活動を拡げること、生協の輪の外の個人や団体とつながることを目的に、法人団体契約、子ども食堂の開設、みらい子ども・子育てサポート基金の募集、みんなのクラブの組織化など賛同を拡げていきます。(川崎)

約9割の電気を再生エネルギーからお届け

生活クラブでんき

生活クラブでんきを契約するなら今!

スイッチングキャンペーン実施中
2024年6月1日(土)~
8月31日(土)

期間中に契約すると、ブランディンググッズプレゼント!

生活クラブでんき スイッチングキャンペーン

環境負荷の少ない電源へスイッチング! 8月31日までに切り替えると、抽選でグッズプレゼント!

自然エネルギーへ切り替えませんか?
福祉クラブでは、再生可能エネルギーを中心とした電気の共同購入「生活クラブでんき」に取り組んでいます。
「生活クラブでんき」は、約9割を再生可能エネルギーの発電所からお届け! 身体にやさしい食べ物を選ぶように、地球にやさしい「でんき」を選ぶ。今の選択、毎日の暮らしが未来につながる電気です。



納得・愛着・こだわりの消費材

豚肉

生産者：(株)平田牧場



(株)平田牧場には、豚の健康や環境に配慮し、安心・安全、おいしい豚肉を生産する、たくさんのこだわりが詰まっています。また豚肉はビタミンB1が豊富、疲労回復効果があります。夏バテ防止に豚肉をたっぷり食べましょう。

消費材紹介



います)がともおいしくなりました。現在の配合割合は肥育期(123日間)で1頭の豚が食べる米の量は102kg(飼料の国産率が高まりました)。

▼えさのこだわり

飼料用米の他に、遺伝子組み換えや収穫後の農薬散布されていないトウモロコシを与え、また大麦20%の配合がさらにおいしくなるポイントです。

▼品種・肉質を最優先した三元豚交配豚 LDBB(ランドレース・デュロック・パルクシャー)

味の決め手となる黒豚のパークシャーを交配させ、ひと味もふた味も違う特別な品種。

▼育て方

自然の風や日光が入る開放型豚舎は、豚がのびのびとストレスなく過ごせるよう、1頭当たりの飼養スペースは、一般的な基準の1.4倍の広さです。また、しっかりとした肉質に仕上げるため、市販の豚より飼育日数も長くつづきます。

豚肉人気ランキング

- ★第1位 ひき肉
- ★第2位 切り落とし
- ★第3位 ももスライス



平田牧場のひき肉は、成型時に出来る端材のいろいろな部位が入るため、とてもおうちの味。

能登半島地震復興支援カンパ報告

2024年1月1日「令和6年能登半島地震」で被害に遭われたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

福祉クラブ組合員の皆さんに呼びかけたカンパ金は、計6,875口、343万7,500円でした。ご協力ありがとうございました。

生活クラブ連合会全体で組合員や提携生産者などから寄せられた8,500万円を超える支援金を、被災した提携生産者や被災地で活動する団体へ届けました。

- 緊急支援物資の提供(1,000万円)
- 見舞金・義援金・支援金の寄付
 - ①被災した提携生産者へのお見舞金(3,200万円)
 - ・石川県漁協(能登町小木支所)
 - ・マルハニチロ(株)(ゼリー飲料等の製造元:富山市(株)トンボ飲料)、
 - ・調理用品の下村企販(株)(新潟県燕市)
 - ②公財) 共生地域創造財団など中間支援団体への支援金(3,200万円)
 - ③日本生活協同組合連合会「令和6年能登半島地震災害支援募金」への寄付(1,143万3,449円)

(三和)

コロナ禍で増えた供給量に対して豚肉の生産量も増やしましたが、コロナが落ち着き、組合員数が減少していること、さらにさまざまな資源高騰により価格が上がったことで利用量が落ちている状況です。長い月日をかけて育てられている豚は、すぐに減らせるものではありません。利用しやすい価格を実現するため、今まで一部加工肉の原料で使用していたLWD種(ランドレース・ヨークシャー・デュロック)の精肉利用の計画も立てられました(10月)。組合員が望むお肉を作ってくれる生産者。両者が一緒になって、子どもたちが生きていく未来も安心して食べ続けることができるように、食べる仲間を増やしていきます。

5月14日、豚肉学習会を行いました

平田牧場の本間さんをお迎えして、久しぶりのリアル開催、50人以上の参加者で「きりり港北」の会議室が活気づきました。映像や本間さんの絶妙なトークに、会場の全員が引き込まれました。1頭の豚からとれる部位は決まっています。まるごと1頭をバランスよく食べることの大切さを学びました。「組合員は責任を持って食べていかなければならない」。優しい口調ではありましたが、本間さんのその言葉が強く印象に残っています。

2024年度 第1回 理事会報告

(1) 経営状況

2024年4月の総事業高は、3億5,682万円で予算額3億5,887万円に対して99.4%、金額で205万円下回りました。前年金額3億3,695万円に対して105.9%、1,986万円上回っています。

(2) 第8次5ヵ年計画策定PJ設置

福祉クラブの運動理念を具体化、未来を考える機会として、中長期的な視点で5ヵ年の計画を立て、実行しています。現在までの到達点の振り返りから課題を踏まえ、地域にねざしたたすけあいひろげる街づくり計画、事業目標を掲げ、次期5ヵ年(2025~2029年度)につなげていきます。

(3) 幸複合福祉施設9月開所に向けて

川崎市幸区下平間にある「Dayかしまだ」(2005年開所)を改装します。デイサービスは20人規模で、組合員や地域交流の場となるコミュニティスペースと、組合員の活動連携を高めるため7つのW.Co事務所を併設します。30年間活動の中心としてきたなじみのある拠点を活かして、幸区の街づくりをひろげていきます。

科目	4月分	年度累計	累計前年比%
供給高	22,435	22,435	107.7
福祉事業高	7,989	7,989	100.0
施設事業高	4,888	4,888	106.3
利用事業高	255	255	162.4
共済受託収入	113	113	93.6
総事業高	35,682	35,682	105.9
事業総剰余	12,092	12,092	108.1
人件費	2,743	2,743	104.4
委託費	2,993	2,993	103.3
物件費	4,359	4,359	99.3
諸経費計	11,519	11,519	102.1
事業剰余	572	572	—
事業外収入	235	235	91.9
事業外費用	269	269	93.1
事業活動剰余金	596	596	—

福祉事業会費賛同登録者数10,578人(65.63%) 金額102万円



提出は9/6まで!

夏休み期間

親子で健康づくりにチャレンジ!

30日間、達成者に「りんごジュース」プレゼント。

《参加者の声》かぞくみんなで、こどももがんばる良いきっかけになりました!

【チャレンジ内容】

- *ぼく・わたしは…はみがき、早寝早起き、朝ご飯を食べる、あいさつ、お手伝い など
- *大人は…はみがき、早寝早起き、腹八分目、ストレッチ など

●期 間:7月1日~8月31日

●対 象:小学生まで。 ●参加費無料

●提出先:用紙を受け取った配達メンバー、センターや保育室などの拠点へお渡しください。

●FAX 045-547-1414

●webからの提出も可能です。

こちらから→



施設探訪

173

～メンバー同士も、たすけあい合言葉です～

福祉クラブ生協「あいわ事務所」 相模原の拠点



「おゆずり会」手作りポスターが目印！

小田急線相模大野駅から歩いて5分程。昔ながらの相模大野銀座商店街の中に事務所があります。商店街という立地から、親しみやすい雰囲気です。



第14回通常総会で

相模原家事介護リーカーコレクション



食へて話してわかり合いたい！

コロナ前は、試食会「あいわサロン」で、交流を深めていました。これから試食会も活発化し、消費材の良さを伝えながら一緒に活動する仲間も増やしていきたいと考えています。

家事介護サービスで暮らしをサポート

相模原市の子育て世帯訪問支援事業として、産後6カ月まで、さまざまな事情で家事が困難な世帯に対して補助があり、「あいわ」として、行政より受託しています。毎月数件の利用があり、6カ月を過ぎると「あいわ」の独自サービス「コミオプ」で、家事支援を延長される家族もいらっしゃいます。若い世代との接点が増え、福祉クラブの加入につながっています。高齢者の家事支援も行い、幅広い世代を支えています。

相模原市南区で活動するW・Coは、10年10月に設立した家事介護W・Co「あいわ」と21年3月に設立した世話焼きW・Co「ミモザ」です。組合員数は266人。「あいわ」と「ミモザ」のメンバーは、ほとんどが兼任し、20人位が活動しています。60代70代が活躍中で、中には今年90歳のメンバーも、事務所当番や時には知人宅に食事を作りに行くこともあります。

絵本と子ども服のおゆずり会

毎月第3木曜日に開催し、毎回15人ほどが来所します。近く

に相模原南保健福祉センターがあり、事務所の前を多くの子ども連れが通り、おゆずり会に参加しています。参加者には福祉クラブ生協の消費材を説明書付きでプレゼントしていき、安心安全なものを食べて育てほしいという願いが感じられます。

おゆずり会



小さい子ども連れの若いママたちが集まってきました



とは大変ですが、手伝ってくれるメンバーも出てきているとのこと。メンバー同士も「たすけあい」で相模原での活躍を楽しみにしています。

(取材 秋葉 田中)

福祉クラブ生協「あいわ」
相模原市南区相模大野 6-18-11
電話 042-705-4485
小田急線相模大野駅より徒歩5分

LOVE PET ♡ LOVE PET ♡ LOVE PET

ペット うちの紹介



ゴールデンレトリバーのりん(女の子)です。母と居宅介護支援事務所訪問をしていたセールス犬です。今は父の相棒になり、山下公園や港の見える丘公園に散歩に出かけています。(栄H)

※あなたのペットをご紹介ください。ご連絡は編集室まで。

ひとりごと
編集室から

小学生のとき、夏休みに小学校のプールに通ってました。「今日は32.5℃。暑いよ」と担任の先生がおっしゃった情景を今でも覚えています。今や32℃は涼しいとさえ感じ、35℃以上の猛暑日あり、人間の体温以上の気温に。CO2が排出され、地球温暖化に拍車がかかるといながらも、熱中症予防には冷房を欠かすことができない私です。(川崎)

わたしのうた

続投のピッチャーを射る大西日

アイさんの句集『紫陽花の庭』から、甲子園の熱闘を想像させてくれる詩を選びました。高校球児の日焼けした顔に流れる汗が見える一句です。

(選者筆)

明けきらぬ眠りの街に蝉の声

まだ日が昇らない暗いうちに、突然蝉の鳴き声が聞こえた。今羽化したばかりの蟬だろうか。

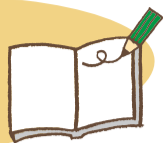
美恵子



江島良子

スマイルひろば

ケアノートから



「みらい子ども・子育てサポート基金」助成先活動の報告

福祉クラブ活動支援基金は、組合員が望む形で寄付が行えるよう2019年度創設。「みらい子ども・子育てサポート基金」「シニア支えあい基金」「W.Co活動支援基金」「その他(未該当の寄付金)」の分類で毎年、福祉クラブ支援基金運用委員会で助成先と助成金額を決定しています。助成先活動として、港北区、鎌倉市の「こども食堂」をご紹介します。



港北区 「みんなのきらきら地域しょくどう」

2023年6月から「きらり港北」で始めました。毎月1回土曜日の昼食、メニューは消費材を使ってのカレーです。組合員からお米の寄付や、「お手伝いに行きます」との嬉しい声がありました。調理は組合員がボランティアで行っています。参加年齢は高齢者から子どもまで幅広く、折り紙を教え合ったり、子どもの笑顔に癒されたり、世代間の交流ができています。お近くの方はぜひ、お越しください。(山下)



調理は組合員がボランティアでお手伝い盛り付けは彩りよく

鎌倉市 「ぷくぷく食堂」

鎌倉市では2023年7月より子ども食堂を始めました。開始にあたって組合員にボランティアの募集をして活動開始。「コア北鎌倉」近くの町内会館を会場に、毎月1回土曜日の夕食を提供しています。始めは参加者を集めるのに苦心しましたが、会を重ねるにつれ少しずつ増え、毎回楽しみに来るリピーター親子もいます。食事の前後には、クイズや簡単な手品、季節の工作などいろいろアイデアが出て、楽しんでいます。現在は多世代に向けて開催しています。(高橋)



参加者も増えて、クイズや手品なども楽しんでいます。

今月のW.Co 戸塚世話焼きW.Co「こでまり」

「福祉クラブのことを地域の人に知ってもらいたい!」

福祉クラブこだわりの食材を紹介する「みんなのひろば」を組合員宅のガレージや玄関前で毎月1回行っています。今まで宅配を必要と感じていなかった方も、状況が変化して「ちょっと始めてみようかしら」と気軽に思ってもらえるよう話しています。

ある日は、場所を提供くださった、移動サービス利用の組合員さんが、街の技術の出張理美容サービスがあることを初めて知り、すぐ予約につながりました。ふとした会話からさまざまな情報を届けら



戸塚区内のあちこちで開催します!



れる身近な機会にもなると実感しました。組合員さんとの交流や地域を知ることにもつながるため、この形式でしばらくは続けていきたいと思っています。(麻生)



絵本だいすき!-(92)

■どこからきたの? おべんとう

鈴木まもる 作・絵
出版社: 金の星社 発行日: 2020年5月



こどもたちが大好きな「おべんとう」。読み応えはありますが、テンポが良く、好きなおかずを選んだりして小さな子も飽きずに楽しめます。たくさんのはたらく人、社会を知る一歩にも。(S)

日吉センター 横浜市港北区日吉5-21-31 TEL045-561-3030(代表) FAX 045-564-9858(代表)		鎌倉センター 鎌倉市台5-2-22 TEL0467-48-3955(代表) FAX 0467-48-3136(代表)		初山センター 川崎市宮前区初山2-1-7 TEL044-977-0705(代表) FAX 044-977-2556(代表)		藤沢センター 藤沢市善行6-19-51 TEL0466-80-5710(代表) FAX 0466-82-6975(代表)	
横浜市	港北区・鶴見区・南区・神奈川区・保土ヶ谷区	横浜市	栄区・金沢区・磯子区・港南区	横浜市	緑区・青葉区・都筑区	横浜市	戸塚区・旭区
川崎市	幸区・中原区・川崎区 (一部)	鎌倉市	全地域	川崎市	高津区・宮前区・多摩区・麻生区	厚木市	全地域
		逗子市	全地域			相模原市	南区 茅ヶ崎市 一部
		三浦郡	葉山町 横須賀市 一部				